

## 【寄付募集】

### 滋賀・コロナウイルス対策困窮者支援基金のお知らせ

6/12より、47都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金

～応援したい都道府県を選んで寄付できる～

『47コロナ基金（よんなな・ころな・ききん）』が、全国一斉に寄付募集を開始しました！

(<https://congrant.com/jp/corona47/>)

その47都道府県のうち、【滋賀の基金】として、

淡海ネットワークセンターも新型コロナウイルス対策困窮者支援基金を設置します。

この基金は、滋賀県内で、新型コロナウイルス感染症の影響により

厳しい状況に直面している方を支えるための基金です。

新型コロナウイルスは、人々の暮らしに大きな影響をもたらしました。

なかでも立場の弱い人は、さらなる困難に直面しています。

当基金へのご寄付は、

生活困窮者やひとり親家庭等への食料支援、経済的に困難な状況にある人々へのケア、一人暮らしの高齢者の見守り活動、障がいのある方々への支援など、社会的に弱い立場にある人を守り応援する活動への支援に使わせていただきます。

どうぞ、より多くの方の寄付参加をお待ちしております。

【ご寄付はこちらから】

<https://congrant.com/project/sanaburi/1748>

↓QRコードはこちら



お問い合わせ 淡海ネットワークセンター(公益財団法人 淡海文化振興財団)

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20(ピアザ淡海2F)

TEL:077-524-8440、FAX:077-524-8442

E-mail:office@ohmi-net.com

<https://www.ohmi-net.com/>



## 未来ファンドおうみ通信

No. 20

2020年8月1日発行

淡海ネットワークセンター

### “想いを基金”に その基金をもとに“地域課題の解決”

— 未来ファンドおうみ助成事業 2020年度  
助成先団体の活動がはじまりました —

#### 【2020年度の助成決定の事業数】

- |   |                      |      |            |
|---|----------------------|------|------------|
| ① | びわこ市民活動応援基金A助成       | 3事業  | (789,000円) |
|   | びわこ市民活動応援基金B助成       | 採択なし |            |
| ② | びわ湖の日基金助成            | 1事業  | (288,000円) |
| ③ | 積水化成品基金助成            | 1事業  | (200,000円) |
| ④ | 笑顔あふれるコーピしが基金助成      | 3事業  | (300,000円) |
| ⑤ | ナカザワN E Oフレンドシップ基金助成 | 1事業  | (100,000円) |
| ⑥ | げんさん食育N P O基金助成      | 1事業  | (100,000円) |
| ⑦ | 湖国文学活動応援むらさき基金助成     | 1事業  | (100,000円) |
| ⑧ | びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金助成①  | 2事業  | (200,000円) |
|   | びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金助成②  | 1事業  | (199,000円) |

合計

14事業 (2,276,000円)



採択団体名・事業名一覧はこちらの  
QRコードからご覧ください。

助成金を有効に使って、地域がさらに良くなる活動を展開して下さることに期待いたします。

## 2020年度 助成団体の活動

びわこ市民活動応援基金

ぼてじゃこトラスト

採択事業は、「滋賀の魚つかみ文化を次世代につなぐ、楽しく遊び、学ぶ親子自然体験教室」です。かつて滋賀の子どもたちは田んぼ周りの水路など身近な環境で魚つかみを楽しんでいました。しかし、最近は、子どもが生き物にふれる機会が減っています。それは、親世代が川遊びの経験が少なく、遊ぶ場所、遊び方がわからないのが大きな原因です。

そこで、そういった親子を、滋賀のとておきの場所に案内し、魚つかみや自然体験を楽しんでもらおうと「ぼてじゃこワンパク塾」を開催しています。子どもたちが自然の中で楽しく遊び、直に生き物に触れ合う中で感性豊かに育ってほしいと願い、活動しています。

小さいときに自然の中で遊んだ経験が、ふるさとを大切にする気持ちを育み、優しい大人に成長すると同時に、滋賀の魚つかみ文化が次世代に継承されることを目指しています。

スポンジエイジ生き物触れ合い教室が開催されました！

6月28日（日）、スポンジエイジ（神経系の発達が著しい3才～6才）の子ども達を対象に、生き物触れ合い教室が開催されました。田んぼの生き物観察、ザリガニとの触れ合い、メダカや金魚すくい、コイやフナのつかみどり体験、釣り体験など、プログラムも盛りだくさんでした。小さな子どもでも生き物と触れあえるよう様々な工夫がされており、子どもたちは夢中になって楽しんでいました。



▲田んぼの生き物観察で興味津々



▲魚をつかんで大喜びの子どもたち



▲金魚すくいも楽しかった



▲釣り堀で釣り体験も♪

【ホームページのQRコード】



びわ湖の日基金

白鳥川の景観を良くする会

【ホームページのQRコード】



採択事業は、「白鳥川桜並木の育成管理で、市民憩いの散策路造りと環境学習支援」です。

「白鳥川の景観を良くする会」は、近江八幡の定年退職者やおやじ連の中から、心ある有志の仲間達で活動している無償ボランティアグループです。近江八幡市の中流を流れる自然豊かな一級河川、白鳥川の美化活動（除草やごみ回収作業・桜並木の管理）を2006年から継続して実施しています。毎月第1・第3・第5水曜日の定例活動のほか、毎週土曜日に有志で自走式草刈機による除草活動を行っています。さらに今年度は小型ボートを活用し、河川敷側からでは難しかった川の中のゴミ回収にも取り組んでいます。

その他にも、季節の行事として、近隣小学校の子ども達が描いた絵をぼんぼりに飾り、灯りをともす「桜ぼんぼり祭り」や、今年は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが「鯉のぼりの川ながし」、近隣小学校の子ども達を対象とした環境学習会などを実施しています。これらの活動によって、市民の「憩いの場づくり」「心豊かな街づくり」に貢献するとともに、次世代を担う子どもたちに環境保全・自然の大切さを伝え、白鳥川流域の素晴らしい景観を後世に残していくことを目指しています。



▲ボートで川の中の大量のゴミを回収



▲ 6月24日の定例活動



▲ この日の収集ゴミは9袋(約27Kg)、剪定枝 約150Kg ▲



▲ 草刈りの様子



▲ 剪払機で刈れないところは鎌で刈ります